

2013年 8月 5日

各医療機関 御中

徳島県医療労働組合連合会
執行委員長 津川 博美



常勤看護師・新卒看護師離職率調査のお願い

日頃より命と健康を守る地域医療の充実にご尽力されておりますことに敬意を表します。

徳島県医労連は、住民生活を支える医療・介護を守り充実するためには、各病院・施設とスタッフが力を合わせて、離職の原因となっている人手不足、長時間過密労働などの勤務実態を改善し、根本的には国が責任を持った対策を行うことが重要だと考えています。

徳島県医労連には、徳島大学病院、健康保険鳴門病院、徳島厚生連病院（阿南共栄病院・麻植協同病院・阿波病院）、阿南医師会中央病院、国立病院機構徳島病院・東徳島医療センターや民間医療機関・介護施設等の労働組合が加盟し、各病院・施設と協力して地域医療の充実にめざす県内最大の医療産業別労働組合です。この3年間で徳島県医労連が行った議会請願は、県内過半数の市町村議会において「安心安全の医療介護の実現を求める意見書」を国に提出していただいているところです。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、下記の「看護師の離職率調査」へのご協力をお願い申し上げます。

【調査内容】

①常勤看護職員離職率：年間の総退職者数が平均職員数に占める割合

常勤看護職員離職率＝当該年度の総退職者数／当該年度の平均職員数×100

平均職員数＝（年度当初の在籍職員数＋年度末の在籍職員数）／2

②新卒看護職員離職率：年間の新卒退職者数が新卒採用者数に占める割合

新卒看護職員離職率＝当該年度の新卒退職者数／当該年度の新卒採用者数×100

※常勤看護職員離職率には、新卒者の離職も含まれる。※離職には定年退職、転職を含む。

施設名[]連絡先TEL 記入者名

離職率表	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
常勤看護師	%	%	%	%	%	%
新卒看護師	%	%	%	%	%	%
備考						

連絡・返送先：徳島県医労連TEL088(679)9272 fax088(655)9424 tokuirouren@hotmail.co.jp

お手数をおかけしますが、本書面をファックスでご返送をお願いします。担当：井上純

News Release

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2013年3月7日

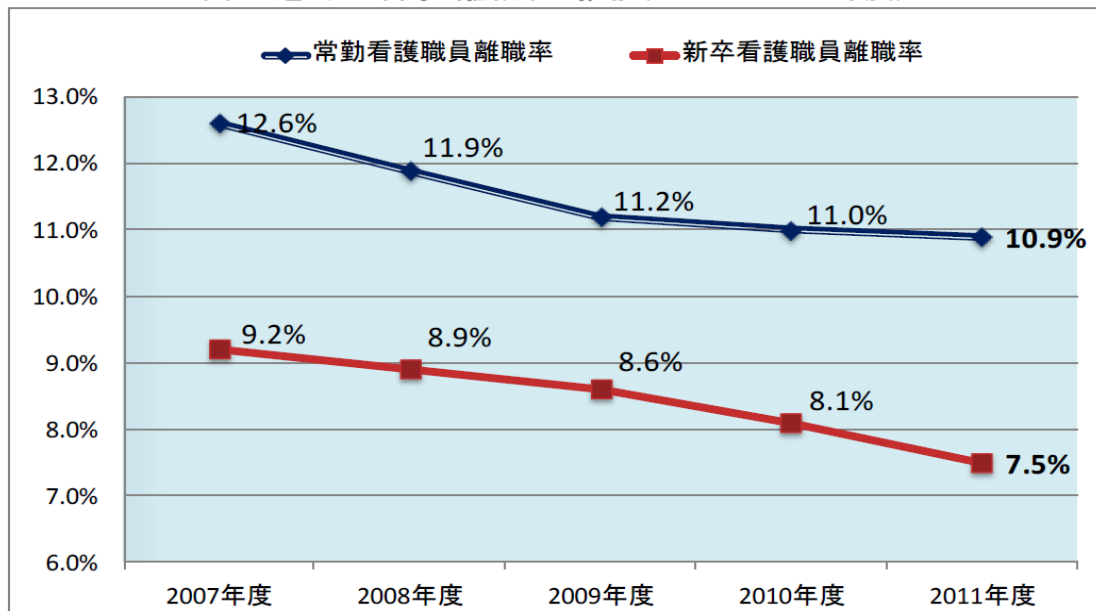
調査結果

1) 2011年度の看護職員離職率

(1) 常勤看護職員・新卒看護職員の離職率の推移

- 2011年度の常勤看護職員離職率は10.9%で、前年比0.1ポイントの微減。
- 2011年度の新卒看護職員離職率は7.5%で、前年比0.6ポイント減。
- 常勤看護職員・新卒看護職員ともに、離職率は4年連続で減少している。

図1 過去5年間の離職率の推移(2007～2011年度)



【参考】離職率の算出方法について

- 常勤看護職員離職率: 年間の総退職者数が平均職員数に占める割合

常勤看護職員離職率 = 当該年度の総退職者数 / 当該年度の平均職員数 × 100
 平均職員数 = (年度当初の在籍職員数 + 年度末の在籍職員数) / 2

- 新卒看護職員離職率: 年間の新卒退職者数が新卒採用者数に占める割合

新卒看護職員離職率 = 当該年度の新卒退職者数 / 当該年度の新卒採用者数 × 100

※ 常勤看護職員離職率には、新卒者の離職も含まれる。

※ 離職には定年退職、転職を含む。

(2) 都道府県別 看護職員離職率

- 常勤看護職員の離職率が全国平均を上回っているのは、北海道、首都圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県であり、都市部で離職率が高い傾向が続いている。
- 常勤看護職員の離職率が低い都道府県は、島根県(6.0%)、岩手県(6.3%)、富山県(6.7%)、福井県(6.9%)など。東北、北陸、四国で比較的低い傾向が続いている。